

Lieber Freund

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

vol.7

発行：NPO鳴門「第九」を歌う会事務局

TEL 088-686-1296 FAX 088-686-7690 (浅野)

http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/ E-mail: naruto_daiku@yahoo.co.jp

2007年6月3日発行

中高生や鳴教大の皆さんが
今年の「第九」に新しい風を吹き込んでくれました



↑鳴教大生や院生さんの参加で
活気づいた初心者教室

ごあいさつ

鳴門市が産声をあげて60年。「初演の地・鳴門」で第九が甦り、歌い継がれて、26年目を迎えます。

NPO法人鳴門「第九」を歌う会の皆さんは、12月から今日まで、情熱をもって熱心に練習に参加してきました。指揮者の山田啓明先生、初心者教室や全体練習に力を注いで下さった頃安利秀先生はじめ大勢の素晴らしい先生方のご指導の下、難曲にいどみ、いよいよ本番を迎えます。全国から「初演の地で第九を！」と駆けつけてくださる420名の皆様と一緒に、声高らかに歌う歓喜の大合唱で、観客の皆様を感動の渦に巻き込んでくださることでしょう。

「コーラス9」のモーツァルト・コンサート、鳴門市芸能祭やドイツ・フェスト in 鳴門、米子第九演奏会、国民文化祭プレイベントの第九、とくしまNPOフォーラムでの第九……昨年の皆様のめざましいご活躍に敬意を表すると共に、本年も文化都市鳴門の大きな力となってくださるようご期待申し上げます。

(NPO法人鳴門「第九」を歌う会理事長 大塚 道子)

山田啓明先生のエネルギッシュなタクトに応えて、若々しい歌声が響く——。歌声の主は、鳴門市内の中学生20名、高校生、そして鳴門教育大学から参加されている学生・院生さん達です。なんと男子中学生までいます！ のびやかな明るい声に、私達まで若返った気分になって、練習にいつそう活気とハリが生まれました。

ここ数年、一番の課題であった若い世代の育成・参加。中学生を対象にした教室や、初心者教室の開催が実を結び、今年のうれしい結果が生まれたと思っています。

本番では、若い世代と私達ベテラン（エヘン！）がそれぞれの持ち味を発揮し、「第九」の精神を体現しましょう。

→山田先生のハチマキ姿も
すっかりトレードマークに。
その氣にさせられて熱唱！



県外研修

映画『バルトの楽園』の影響か、ひととき忙しかった平成18年度。そんな中、積極的に県外研修に参加しました。

活動の記録

米子の「第九」に初参加



平成18年度は、徳島県の第九にとって、画期的な年となりました。第22回国民文化祭のプレイベントとして、県内4カ所で第九演奏会が開催されたのです。

県南部では新生・阿南第九が、県西部では市町村合併間もない三好市で、中央の徳島市は大学生を中心とした第九合唱団がそれぞれ誕生。わずか半年足らずの練習期間で、それぞれ千人を超す観客の前で暗譜で歌い切ったのです。それは見事というほかに言葉がありません。

◆香川第九演奏会に参加

2006.11/5 於：香川県県民ホール 8名参加
意中の第九「かがわ第九」に初めて参加しました。飯森泰次郎指揮、関西フィル演奏、20周年記念公演なる大舞台に立った歓びと感動は筆舌に尽くしがたい。前日の深い精神性溢れる指揮に目覚め、ホール満席の観客を前に、全国から参加した約400名の合唱団と「歓喜の歌」を歌い、平和・愛・友情を思いました。(文：長尾 博昭)

◆一万人の第九に参加

2006.12/3 於：大阪城ホール 32名参加
一万人の第九に妻と二人で初めて参加しました。指揮者・佐渡裕が振る指揮棒の先端にオケ、コーラス、観客の約15000人が乗っかり、感動の大演奏会は拍手と歓声が鳴りやまず。私も喜びで胸が熱くなり、毎年参加する人の気持ちがわかりました。(文：阿部 幸次)

◆国技館5千人の第九



2007.2/24
於：両国国技館
13名参加
所変われば第九も変わる？ なかなか新鮮な会場でした。

さて、本題の米子の「第九」は、平成18年12月3日に「県民による第九米子公演」として開催されました。鳥取県の第九演奏会は、今から22年前の1985年「わかとり国体」を契機として、鳥取市・米子市・倉吉市の3つの市が持ち回りで毎年開催しています。徳島との縁は、鳥取・徳島両県の災害時相互応援協定がそのもとであり、一環の文化連携もこれに由来します。

今回の演奏会は、徳島県の依頼を受け、鳴門を含めて左記4つの合唱団の選抜隊で参加しました。男声の応援を、との米子側からの依頼で、編成は女声10名、男声15名の総勢25名。米子の合唱団、地元のオーケストラ総勢200名と共に、心を込めて、また初演の地の誇りを胸に歌いました。会場を埋め尽くした千人余の聴衆の惜しみない拍手に、感動で熱いものがこみ上げてきました。精一杯のおもてなしをしてくれた米子の人達から、「来年もぜひ」との声を聞きながら帰路についたのでした。(文：浅野 司郎)

県内研修

◆平成18年度総会

& 第1回研修会「ひまわりコンサート」

2006.7/23 於：鳴門市ドイツ館 75名参加
平成18年度総会の後、川竹道夫さん・永山愛さん親子による民族楽器の演奏を鑑賞。ピアノの先祖であるダルシマー、はかなげな音色の二胡などで、アイリッシュから津軽じょんがら節まで披露してくれました。異国情緒に溢れた不思議な音色に魅せられた1時間でした。(文：小川 誠)

◆第2回研修会

2006.12/17 於：鳴門グランドホテル
午前の部 65名、午後の部 97名参加
大井美弥子先生による合唱指導の後、クリスマスランチ、午後は今をときめく影あそび劇団「ジョイホナ」の影絵鑑賞会。



影絵の作り方を教わったり、徳島の民話「たのきゅう」の変身するウワバミに驚いたり！ 楽しいひとときを過ごしました。(文：浅野 里江)



第3回演奏会「モーツァルト・コンサート」

2006. 11/26 於：鳴門市ドイツ館
モーツァルト生誕250年にちなんで、第3回演奏会は『戴冠ミサ』を演奏。第1回演奏会の演目の再挑戦ということで、レベルアップを目指して4カ月間みっちり練習を重ねました。ラテン語に四苦八苦していた頃とは違い、練習の過程でも手応え十分。指揮：山田啓明、ソプラノ：佐川理恵子、アルト：小川明子、テノール：頃安利秀、バス：美濃孝行、ピアノ：向井真紀子・庄司昭子の先生方のお力添えを得て、満席のお客さんを前に、至高の名曲を堂々と歌い上げました。

その他の出演

◆四国みな祭り

2006. 6/11

於：徳大大塚講堂

映画『バルトの楽園』のPR

イベントに協力。映画に負けじと、頃安利秀先生の指揮で「第九」を歌いました。



◆道の駅「第九の里」オープニング

2006. 7/8

於：道の駅「第九の里」

徳島文理大学の学生さん達と「第九」で道の駅の落成を祝いました。



◆ドイチェスフェスト in なんと

2006. 10/15 於：鳴門市ドイツ館

曲目：「エーデルワイス」「Ave verum corpus」他

◆「九条の会」オープニング

2006. 11/3 於：鳴門市文化会館

憲法第九条を考える会に出演。コーラス9がドイツ語で第九を歌った後、日本語の訳詩“歓喜よ…”を用い、会場の皆さんと小節ごとに練習し、歌いました。

◆第30回鳴門市芸能祭

2006. 11/19

於：鳴門市文化会館

曲目：「Ave verum corpus」

『戴冠ミサ』より

Sanctus ほか



◆第6回とくしまNPOフォーラムに出演

2007. 2/10 於：鳴門教育大学ホール

県下のNPOが集まって活動報告・交流を行うNPOフォーラムで「第九」を演奏。格調高いセレモニーになったと好評でした。

民放に、BSに相次ぐ出演依頼

◆雨の中の24時間テレビ

2006. 8/27 於：鳴門市大麻町板東



恒例の24時間テレビの協賛イベントに出演。雨による中断にも負けず、世界の挨拶を輪唱する『Good morning』や『第九』を披露。フィナーレはテーマソング『サライ』の合唱で締めくくりました。

◆BS「日本の歌」バックコーラスとして出演

2006. 10/12 於：鳴門市文化会館

山本譲二「みちのくひとり旅」、大月みやこ「未練の波止場」のバックコーラスとして女声限定22人が参加。NHK・勝山紀子先生の2回のレッスンを経て収録。11月18日に放送されました。

◆BS「おいニッポン」収録

2006. 11/25 於：鳴門市ドイツ館

全国48都道府県を巡回するNHK-BS『おいニッポン』。「第九初演の地」として紹介したいというNHKからの依頼で、コーラス9が番組の収録に協力することに。作曲家・千住明^{せんじゅあきら}さんのインタビューを織りまぜながら、山田啓明先生の指揮で歌声を披露。2007年2月4日の生放送にも9名が参加し、千住さん編曲の『阿波の国ラプソディー』を熱唱しました。演奏もさることながら、テレビカメラを前に動じない皆さんの度胸にほとほと感心…。



Naruto Nostalgia

第九ゆかりの地を訪ねて



慰霊碑には、日本で亡くなった11名の名前が刻まれています

第4回 ドイツ兵の墓

板東俘虜収容所のドイツ兵達は、帰国を前にした1919年8月末、日本で亡くなった仲間を慰霊する碑（墓）を収容所内に建立しました。彼らの帰国後、いつしか墓の存在は忘れられ、荒れ放題になっていましたが、1948年、収容所跡地に暮らしていた高橋春枝さんが墓の存在に気付き、以来、ご夫婦で墓の手入れや清掃をずっと続けられていました。この活動が新聞を通じてドイツまで届いたことがきっかけとなって、大使夫妻や神戸総領事夫妻が板東を訪れるなど、ドイツと鳴門市との交流が始まったのでした。1964年、高橋春枝さんにはドイツ功労勲章が贈られました。現在も、高橋さんの子孫の方が墓を守り続けておられます。

DATA

☎088-684-1157 (鳴門市観光協会)
住所／鳴門市大麻町板東字広塚
交通／JR鳴門駅から鳴門市営バス大麻線で30分、ドイツ村下車、徒歩5分



事務局だより

♪準備万端！ご協力ありがとうございました

今年も、毎回の練習の受付に始まり、募金や一筆箋のラッピング、交流会の準備にと、一人一役のボランティア、本当にありがとうございました。演奏会を成功させようとの皆さんの意気込みが、こんなところにも感じられて頼もしい限りです。今年もいい演奏会にしましょう！



事務局会議を重ね、よりよい運営、おもてなしに余念がありません

♪秋は国文祭の「第九フェスティバル」



今秋に徳島県下一円で開催される第22回国民文化祭。鳴門市文化会館では、10月28日に「第九フェスティバル」が開催されます。年に2回の第九…！出演される方もボランティアの方も大変ですが、この大きな祭典を楽しみ、ぜひ成功させましょう。

♪Chorus9 今年はこんな試みを…

と言うわけで、例年秋に開催している演奏会は、今年は延期。その代わり、今年は2008年1月をメドに団内演奏会を計画中です。少人数でのアンサンブルにも取り組んでみたいと思っています。皆様のご参加、お待ちしております。

参加申込みは事務局(浅野) ☎088-686-1296まで

感謝状贈呈

全日本「第九を歌う会」連合会、並びにNPO法人鳴門「第九」を歌う会から、今年で鳴門の第九に10回以上参加されることになる県外の団体・個人に感謝状を贈呈させていただきます。また、NPO法人鳴門「第九」を歌う会の中で、演奏会に20回以上参加された方にも、鳴門市制60年記念として感謝状を贈呈させていただきます。

全日本「第九を歌う会」連合会加盟団体(1団体)

●東かがわ第九を歌う会

全日本「第九」を歌う会連合会(9名)

●伊藤 節子 ●荻木 静江 ●白川美佐子 ●大島 泰子
●島野 一郎 ●島野 靖子 ●高嶋 好江 ●真野 倉二
●山田 梅子

NPO法人鳴門「第九」を歌う会(22名)

●岩井 良子 ●大森 瑛子 ●庄島 夏子 ●四宮可治子
●高橋佐代子 ●廣川 慶子 ●山西加容子 ●浅野 里江
●飯原 道代 ●幸田 節子 ●堺 雅美 ●高月 牧子
●富士 都美 ●吉永紀美子 ●亀井 俊明 ●菅瀬 忍
●谷 正博 ●徳永 繁 ●森 純史 ●山室 昭次
●天野 大 ●平田 義一 (順不同、敬称略)

お待たせしました！ホームページ開設

私達の活動の紹介、第九演奏会の歴史、会報のバックナンバーなどを紹介するNPO鳴門「第九」のホームページがこのほどオープンしました。目玉(?)は、ほぼ一週間に一度の更新を目指している「第九日記」のコーナーです。これからコンテンツや記事内容はどんどん増やしていく予定です。皆さん、ぜひご覧になって、感想など聞かせてくださいね。

<http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/>



●やっとホームページをオープンすることができました。写真や原稿を提供くださった皆さん、ご協力ありがとうございました。皆さんからの反響はどうだろう……ちょっとドキドキの広報部です。

●最後までお読みいただき、ありがとうございました。次号は冬に発行予定です。

(広報委員一同 撮影／濱田佳代子)